

第 11 回

ハイリスク児フォローアップ研究会 プログラム

会 頭 橋本 武夫

聖マリア病院 母子総合医療センター長

日 時

2003 年 6 月 20 日(金) 14:00~20:00 久留米翠香園ホテル

21 日(土) 9:00~15:30 久留米医師会館

プログラム

6月20日(金)

久留米翠香園ホテル 久留米市櫛原町 87

- 14:00 開会挨拶 会長 (兵庫県立こども病院) 中村 肇
- 14:10～ 歓迎講演 座長 (愛育病院) 山口規容子
聖マリア病院 母子総合医療センター 橋本 武夫
- 15:00～ 招請講演 1 座長 (聖マリア病院) 福田 清一
「視力障害を越えて - 素晴らしい生きざまから - 」
1) 生きてます 17 歳 - 500g で生まれた全盲の子 - 井上美由起
母: 井上美智代
2) 片眼失明で視能訓練士として 北九州厚生年金病院眼科 東 葉津子
3) キーボード奏者としての喜び 県立柳川盲学校 平河 大志
- 16:30～ 招請講演 2 座長 (聖マリア病院) 橋本 武夫
ハンディキャップ児への音楽療法
1) リトミック音楽を通して 音楽療法士 和田 玲子
2) ボディパーカッション 久留米市立荒木小学校教諭 山田 俊之
- 18:00～20:00 懇親会(翠香園ホテル)
- みんなでボディパーカッション!! -

6月21日(土)

久留米医師会館 久留米市櫛原町 34

- 9:00 特別講演 座長 (東邦大学新生児学教室) 多田 裕
1995 年出生超低出生体重児 6 歳時予後全国調査結果
兵庫県立こども病院 上谷 良行
- 9:30～ 一般演題 1 座長 (東京女子医科大学 母子総合医療センター) 三科 潤

1. 当科における超低出生体重児脳性麻痺合併率の検討

松戸市立病院 新生児科

○ 喜田 善和

2. 超低出生体重児における発達の特徴 –聖マリア病院の発達支援の蓄積から–

その1 遠城寺式・乳幼児分析的発達検査(1歳から3歳まで)の発達レベルについて

聖マリア病院 心理療法科

○ 向笠 章子、木村 佐 宜子、戸川 芳枝、中島 康浩

同 母子総合医療センター 橋本 武夫

3. 超低出生体重児における発達の特徴 –聖マリア病院の発達支援の蓄積から–

その2 乳幼児精神発達検査(3～7歳)における発達

聖マリア病院 心理療法科

○ 向笠 章子、木村 佐宜子、戸川 芳枝、中島 康浩

同 母子総合医療センター 橋本 武夫

4. 新版 K 式発達検査 2001 を用いた極低出生体重児の発達評価の検討 –増補版と比較して

東京女子医科大学母子総合医療センター 小児保健部門

○ 山田 美穂、田中 徳子、河野 由美、三科 潤

5. 極低出生体重児の家族への関わり

聖マリア病院 心理療法科

○ 岩山 真理子、木村 佐宜子、戸川 芳枝

同 母子総合医療センター 橋本 武夫

6. 障害児(者)における歯科的フォローアップの重要性 について

聖マリア病院 母子総合医療センター・小児歯科

○ 柳田 憲一

11:20～12:00 特別講演 座長 (柳川療育センター) 高嶋 幸男

ライフサイクルからみた極低出生体重児の支援

久留米大学小児学教室 松石豊次郎

12:00～13:10 昼休み

12:15～13:00 幹事会 久留米医師会館 1階会議室

13:10～13:20 総会

13:20～14:35 一般演題 2

座長 (宮城県立こども病院)

奈良 隆寛

7. 研究会ネットワークで学校へ介入し不登校が解決したアスペルガー症候群児

久留米大学 小児科

○ 山下 裕史朗、松石 豊次郎

聖マリア病院 新生児科 橋本 武夫

8. 極低出生体重児の保育所生活での問題点についての検討

—個別対応と他機関との連携について—

母子愛育会愛育病院

○ 安藤 朗子、山口 規容子、佐藤 紀子、川井 尚

日本子ども家庭総合研究所 高野 陽

青山学院大学 庄司 順一

9. 新生児科医 OB 開業医からみたフォローアップと地域ネットワーク

吉永小児科医院

○ 吉永 陽一郎

10. 児を亡くした家族のフォロー —NICUにおけるグリーフケアへの取組み—

川口市立医療センター 新生児集中治療科

○ 奥 起久子、西岡 正人、箕面 至宏、山南 貞夫、

同 NICU 病棟看護師 村岡 美紀子、榎田 恵子

14:35～14:50 休憩

14:50～

招請講演

座長 (川口市立医療センター)

奥 起久子

グリーフケア 北九州市立総合療育センター

武田 康男

15:30

閉会

— もう一度みんなでボディパーカッション!! —